

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		外国人登録事務事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	市民部	課長名	緒田 恵子
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	市民課	担当者名	吉岡麻理沙
	基本事業	86	市民サービスの向上	所属班	市民窓口班	(内線)	1115
				法令根拠	外国人登録法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	2	3	1	11089			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 S27 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 ・本邦在留外国人の居住関係と身分関係を明確にすることによって、在留外国人を公正に管理する。

【業務の流れ】
 ①受付②内容審査③外国人登録記載事項証明書発行④申請書等整理(1年保管)、入国管理局への調製依頼、報告、照会。原票の作成。転出入外国人の原票を市町村間で送付。原票等整理。

【主な予算費目】①需用費(消耗品費)②役務費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	・20年度と同じ
外国人登録事務を適正に行った。		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・市内在住の外国人	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 証明書発行件数 件 イ 登録申請件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・市内在住の外国人の居住関係、在留資格等を明確にする。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市内在住外国人 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・満足度の高いサービスを受ける。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 外国人登録事務を適正に処理した割合 % イ
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 窓口サービス等の苦情等件数 件数 イ 窓口アンケートの総合評価点数 点数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	406						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	191						
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	490	79	79	91	97	97	97	
	(A) 事業費計	千円	1,087	79	79	91	97	97	97	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	27	25	23	23	23	23	
	延べ業務時間	時間	1,350	1,250	1,250	230	1,250	1,250	1,250	
(B)人件費計	千円	5,360	4,975	4,975	915	4,975	4,975	4,975		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,447	5,054	5,054	1,006	5,072	5,072	5,072		
活動指標	ア 件 イ 件		96 179	72 218	72 218	75 269	72 218	72 218	72 218	72 218
対象指標	ア 人 イ		173	175	175	160	175	175	175	175
成果指標	ア % イ		179 96	175 72	175 72	100	100	100	100	100
上位成果指標	ア 件数 イ 点数		8 4.25	6 4.22	1 4.35	2 4.21	1 4.4	1 4.5	1 4.5	1 4.5

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 ・法律による(昭和27年外国人登録法に基づき実施。)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・国籍、在留資格の多様化。
 ・国際化に伴う在留外国人の増加。
 ・両庁舎での登録受付業務を行い利便性を図った。
 ・20年度の振り返りを踏まえて、成果指標を変更した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・外国語の堪能な職員の配置。

事務事業名	外国人登録事務事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・本人確認を厳格に行い、登録することにより外国人登録の正確性を図ることができ、それに伴う正確な記録の証明書の発行は、市民の利便性に一致する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・外国人登録法による法定受託事務として市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・法定受託事務であり、事業の限定・拡充は不可能である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・届出に基づき、正確に登録、管理がされている。 ・成果指標を適正に処理した割合に変更した。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・法令に基づく事務であり、廃止はできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・外国人を公証する事務であり、特に類似事業は見当たらない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・法的事務を実施するための経費であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・自動交付機の場合はコストの増加に繋がる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・市内在住外国人に平等に公平・公正な対応を行っている。 ・証明手数料は手数料条例に基づいており、適正と思われる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)